

展覧会

次回特別展

没後10年

小倉遊亀展

Ogura Yuki Retrospective
とうとう絵かきになってしまった。

2010年 2月18日(木)～4月4日(日)

2000(平成12)年に105歳で世を去った日本画家、小倉遊亀の画業を紹介する展覧会です。25歳の時安田毅彦に入門し、31歳で院展に初入選して以来、日本美術院を活動の場とした遊亀は対象を鋭い観察眼と豊かな感性でとらえ、鮮やかな色彩と力強い構成で描き出しました。本展では、小倉遊亀の優れたコレクションを有する滋賀県立近代美術館の特別の協力を得て、初期から最晩年までの作品、下絵、挿絵等約100点でその画業を回顧します。

※会期中で展示替えをおこないます。



(娘) 1951年 滋賀県立近代美術館蔵



(娘) 1966年 東京芸術大学蔵 (展示期間2月18日～3月7日)

シネマサロン

<KEN-VI名画サロン>



「ヘンダーソン夫人の贈り物」

●12月11日(金)・12日(土)

莫大な遺産を受け継ぎ未亡人となったヘンダーソン夫人は、ウエストエンド地区にあったウインドミル劇場を買い取った。そこで夫人はイギリス史上初の「ヌードレビュー」を実現させた。勇気を奮って裸になったウインドミル・ガールズ。ステージは熱狂的に支持され、戦地へ赴く兵士たちへのひとときの貴重な「贈り物」となった。(イギリス映画103分)

<監督> スティーヴン・フリアーズ

<出演> ジュディ・デンチ、ボブ・ホスキンスほか

ミュージアムホールにて

両日とも1回目10:30～/2回目13:00～/3回目15:30～

1人1,000円

<映画会>

「となりのトトロ」(フィルム上映会)

●12月29日(火)

昭和30年代の東京近郊を舞台に、不思議な生き物トトロと幼い姉妹のふれあいを描いた物語。1988年、男鹿和雄が美術監督として参加した、スタジオジブリを語るに欠かせない「となりのトトロ」を当時のフィルムで上映します。



©1988 二馬カ・G

ミュージアムホールにて(86分)

1回目11:00～/2回目13:00～/3回目15:30～ 定員各回250名

無料 往復はがきによる申込制 締切は12月12日当日消印有効。

(鑑賞には観覧券の半券が必要です)

※申込方法は、兵庫県立美術館ホームページをご覧ください。

<県美特別上映会>

ウォレスとグルミット

「ベーカリー街の悪夢」ほか

●2010年1月30日(土)

奇想天外な発明でいつも大騒動を巻き起こしてしまうウォレスと、そんなお間抜けな主人を守るためいつも大活躍の愛犬グルミット。今回は街のパン屋になった…はいいいけれど、パン職人だけを狙う「パン屋さん連続殺人事件」に巻き込まれてしまう(29分)。このほか「チーズ・ホリデー(23分)」「ペンギンに気をつける(29分)」「危機一髪(31分)」を一挙同時上映(4本合計112分)

<原作・監督> ニック・パーク

<制作> アードマン・アニメーションズ(イギリス)

ミュージアムホールにて

1回目10:30～/2回目13:00～/3回目15:30～

1人800円、小中生500円



「芸術の館友の会」は、美術を愛し、美術館の活動をサポートすることを目的としています。ご入会いただくと、会員証で特別展をご覧いただけます(会員種別により鑑賞回数異なります)、コレクション展を何度でもご覧いただける他、館内のショップやレストラン等での割引や隔月で会報誌や美術館の情報をお届けするなど嬉しい会員特典があります。2月に山本六三展関連イベントや3月に小倉



8月 美術の中のかたち関連イベント「藤本紀夫さんのギャラリー・トーク&光のワークショップ-アート作品と光-」

コレクション展

2009年度コレクション展Ⅲ

2009年12月12日(土)～2010年3月14日(日)

コレクション名品選

小企画 **山本六三展-幻想とエロス**

今回のコレクション展では、小企画「山本六三展」を同時開催します。神戸の地で独自の類廃美に彩られた幻想的な作品を作り続けた山本六三(やまもと・むつみ1940-2001)の全貌を、ファンにはお馴染みの銅版画や油絵の代表作や、あまり紹介されていない初期作など約80点で紹介いたします。「コレクション名品選」では、戦後の具象絵画



山本六三(不在)1969年 個人蔵

や神戸画壇、幻想的なモチーフを描いた西洋版画など、山本六三と同時代の美術や同傾向の美術を集中的に展示します。



山本六三(イカロスの夢)1989年 個人蔵

関連イベント

【座談会「山本六三 人と作品」】

●2010年2月14日(日)

14:30～16:00 当館レクチャールーム

共催:「芸術の館友の会」

出演:アルフォンソ・井上(銅版画家)、戸田勝久(画家)

聞き手:岡本弘毅(当館学芸員)

入場無料(先着100名)

【学芸員によるギャラリートーク】

●12月20日(日)

コレクション名品選について

(服部正・当館学芸員)

●2010年1月24日(日)

山本六三展について

(岡本弘毅・当館学芸員)

いずれも14:30～(約45分) 場所:常設展示室(要観覧券)

【こどものイベント「アートな凧を作ろう!」】

●2010年1月9日(土)

対象:兵庫県内在住・在学の小中学生とその保護者
申し込み制・有料:受付開始12月19日(土)午前10時から
詳しくは078-262-0908(こどものイベント係)まで

【ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー】

1階、2階、屋外に分けて、コレクション展の見どころをご案内します。

●会期中毎週 金・土・日

いずれも13:00～(約45分) エントランスホール集合
1階常設展示室・2階常設展示室・屋外のいずれかで実施
参加無料、ただし1階、2階の場合は観覧券が必要

コレクション展観覧料

一般500(400)(300)円・大、高生400(320)(240)円・

中、小生250(200)(150)円 ()内は20名様以上の団体料金

()内はコレクション展と特別展両方をご覧になる場合のセット割引料金

ギャラリーにて

※会期中、同会場にて、能楽、大倉流小鼓・太鼓、尺八、薩摩琵琶、朗読、パフォーマンスなど開催予定。

入場料:無料

主催:國廣節夫遺作展実行委員会

阪神・淡路大震災15年 「震災の絵」展

●1月17日(日)～1月30日(土)

10時～18時(入場は17時30分まで)

ただし、1月30日は10時～16時

ギャラリーにて

主催:NHK神戸放送局、神戸新聞社、兵庫県、人と防災未来センター、兵庫県立美術館

遊亀展関連イベントなど美術ファンに向けた楽しい行事をご用意しています。この機会に是非ご入会ください。

※美術情報センター内、カウンターにて随時入会受付中!詳細は、ホームページもしくは友の会事務局までお問い合わせください。お問合せ先:「芸術の館友の会」事務局(078)262-0916

その他のイベント

國廣節夫遺作展「墨いろの世界」

●1月6日(水)～1月14日(木)

10時～18時(入場は17時30分まで)

ただし、1月14日は10時～15時